

RACTIVE!!



号 外
印 刷
洛星新聞局
発 行
洛星新聞局



夏休みも終わりに差し掛かった頃、生徒会は第47回文化祭のスローガンを「RACTIVE」と決定した。これは、「洛星らしく」という意味と、「active(行動的)」という意味が込められている。九月の準備期間に入り、各クラブ部員や、文芸を始めとした生徒たちは、皆が常にこのスローガンをまさに体現してきたと思う。我々の持つ力を十二分に発揮して作り上げられた文化祭が18日に、ついにその幕を開ける。

今年の文化祭やいかに!?

「洛星らしく」積極的になるか?」



高演劇 お気付きの人も多いかと思うが、なんと高演劇のみの小講堂で行われることになってしまっている。高演劇は例年どおり、でなされる。去年もそうだったが、その理由は、単純な話で人手不足で大講堂で演劇をする余裕がないからだそう。今年に関しては、一時は高演劇と合同で行なうという案も持ち上がったが、結局先生の反対などで取り止めた。先生も人手不足を埋めることができなかったようである。

高演劇のみ小講堂で行われるという、異例の事態となっていました。

テーマソング マスコット

今年のテーマソングは、「SUPER STAR」に決定した。しかし、毎年どうしても影の薄いテーマソングを、どうやって文化祭のなかに溶け込ませるのか、つまりどれだけの知名度を上げるか、というのが、実際の、現時点でテーマソングがあることを知っている人にとっては、何人いるのだろうか?」

そして、こちらは逆に毎年文化祭の中で必ずといっていいほど目に付いたあのマスコットキャラが、今年は無くなってしまったという珍らしい事態となってしまう。その原因は、一般からの応募が無かったからである。実は、昨年も今年と同じ状況となっていたが、生徒部の児玉先生のアイデアにより、あの名作「のーらくん・せいちやん」が生まれたのだ。しかし、今年は無いという。第47回文化祭のマスコットキャラクタは無しとなってしまうのだ。したがって、来年は、何でも応募すれば採用される確率が非常に高いので、奮って応募することをお勧めする。

文化祭の目玉の一つは、なんといってもクラブ発表だろう。この欄では、3つのクラブと展示バートより文化祭への意気込みをアピールを添えて書いていただいた。

演劇部



我ら演劇部は、夏のコンクールを終えてはつと暑假もなく、いや、あつたけど、文化祭の公演に向けて始動しています。ハ

オーケストラ部



我がオーケストラ部は、顧問の小笠原先生が、本校に赴任されたときに創立された、40年以上の歴史を持つ伝統的なクラブです。

9月1日現在V。これが読まれる頃は、本番を前にして部員たちは皆イライラしていることでしょう。文化祭公演は毎年大教室で行なっています。よい評判を作ってきた先輩の顔に泥を塗らぬ様、今年も自分たちの芝居をやりたいと思います。そこで、やはりやる気の原動力の一つになるのは後継者!今年は一と高一が二人ずつ入部しました。来年新高一がたぶん入部してくれなければコンクールにも出られませんが、コンクールは高校生の大会なので、今年で引退する高二にとつてこれは由々しき事態です。不安です、心配です。心配などしない、あつさり野郎もいます。出来れば、転機を迎える中三生にはたくさん観に来てほしいです。待つてま

例年なら高一は、この

毎年、年2回文化祭公演とチャリティコンサートを行なってきました。普段は週3回、オーケストラBOXを中心に練習しています。先輩が後輩を親身になって指導するという体制が確立されており、今年も文化祭公演にむけて合宿をするなど、夏休みも返上して部員一同練習に励んで参りました。

今回の曲目は、名曲中の名曲、ベートーヴェン交響曲第5番「運命」を始め、ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

文化祭公演を最後に引退するのですが、今年には演劇部創立40周年記念として、11月にもう一つ公演をする予定になっているので、それが最後ということになります。そのために、今年も手不足の高一生・夢あふれる中一生・演劇部の運命やいかに!宣伝と近況でした。

11月28日(土)
・大人になれない子供達のために
・OBによるダイジェスト公演



投稿 募集

局室前ポストまで

第1幕への前奏曲、ブラームス「大管絃曲」。「ハングリー」です。約半年間に渡る練習の成果を出して頂きたく、大勢の起しをお待ちしています。この機会に、少しでもクラシック音楽になれ親しんで頂ければ幸いです。

